

北上市立
鬼の館 だより

2012.10
第37号



平成24年度企画展「魔よけ」開催中！

11月11日(日)まで



伝統的な魔よけ「鍾馗絵」
(当館蔵)

私たちは古来より、目に見えない
災厄から身を守るために、様々な
魔よけや厄除けを生み出してきました。
定期的に行われる行事や肌身離さず
持ち歩くお守りなど多くの形態が
あります。それら魔よけをとおして
私たちが思い描いてきた「魔」について
考え、併せて守護的な役割を負うもの
として存在してきた鬼の数々を紹介します。



海外の魔よけ「魔よけ面」
(インドネシア・当館蔵)

鬼の館 2012 上半期をふりかえって

こどもの日わくわくイベント

毎年5月5日に行っている「わくわくイベント」では、今年も“鬼”に親しんでもらうために色々な体験コーナーを用意し、たくさんの人達に参加していただきました。鬼剣舞や世界の鬼の衣装などを身に着ける「鬼に変身」や、風船に自分の好きな妖怪を描く「妖怪ふうせん」、鬼剣舞・カッパのお面に色付けができる「お面に色つけ」は、毎年順番待ちになるほどの人気となっています。また、生涯学習文化課や北上少女少女発明クラブの皆さんにご協力をいただき、キャーリングコーナー（キャスター式のカーリングのようなゲーム）やおもしろ工作コーナーも交えることができ、親子で楽しんでいただくことができました。



「鬼に変身」で鬼剣舞の衣装を着付けする

夏休みワークショップ

夏休みワークショップは7月29日から8月11日まで行い「冷え冷え妖怪うちわ」「傘おぼけランプ」「鬼手ぬぐい」の3つの工作にチャレンジしていただきました。「傘おぼけランプ」では、普段使い慣れない道具を使用しての竹細工や和紙づくりなど、親子で苦戦している様子が見受けられました。作業時間が長く、細かい作業が多い工作づくりとなりましたが、完成しランプを点けてみると、傘が色とりどりに照りだされ、親子で微笑んでいました。



傘おぼけランプづくりで、和紙を骨組みに貼り着けている様子

岩崎鬼剣舞享保伝授280年祭

北上市の岩崎鬼剣舞保存会は9月16日、享保17(1732)年の秘伝書相伝から今年で280年目を迎え「享保伝授280年祭 がんばろう! 岩手」を開催しました。踊り組は岩崎鬼剣舞から秘伝書を伝授されている県内外の11団体が集まり、第1部に岩崎城跡地公園で念仏回向式を行い、第2部に鬼の館屋外ステージで全演目公演を披露しました。会場には震災で市内に移住・避難する被災者や地域の敬老対象者が招かれたほか、市内外の鬼剣舞愛好者約500人が鑑賞しました。公演のフィナーレでは、出演団体や関係者ら約200人による「一番庭」の大群舞が行われ、会場には割れんばかりの大きな拍手が湧きあがりました。



最終に行われた「一番庭」の大群舞。迫力がありました

おかげさまで入館者60万人達成!

鬼の館は9月16日、皆様に見守られて開館以来の入館者60万人を達成することができました。60万人目となられたのは、東京都新宿区にお住まいの福田正和さんと妻の美紀子さん。盛岡から一関への移動中にガイドブックを見て、当館に立ち寄ったとの事でした。「大変びっくりしましたが、光栄です。また岩手に来る機会がありましたら、是非来訪したいです」と喜ばれていました。

今後も来館者の方々に喜んでいただけるよう展示や事業等工夫し運営してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



福田さんご夫妻には、鬼剣舞の木目込み人形を贈りました

鬼っこわんぱく講座鬼っこ合宿

～鬼ッズ★サマーキャンプin西和賀町～

夏休み期間中、市内の小学生を対象に毎年開催している「鬼っこ合宿」は、7月26日から28日まで、26人の子どもたちが参加し行いました。

今年は西和賀町の長峰公園キャンプ場とふれあいゆう星館を基点に、鬼にちなんだ工作づくりや、滝の散策、湯田牛乳公社の見学など、いろいろな活動を行ってきました。

「白糸・降る滝」の散策では、日本観察保護協会指導員の瀬川強さんら3人の講師から、山の中に生息する動植物のお話を聞いたり、川遊びをしたり楽しく自然に触れることができました。

猛暑に負けず元気いっぱいに2泊3日を過ごすことができ、新しい仲間やたくさんの思い出を作ることができました。



険しい道を突き進んで、白糸の滝にたどり着いたよ



暑くて大変！ 鬼の金棒づくり
おいしくいただきました



北上天文同好会さんによる星空観察会。土星がはっきり見え感動！

合宿の活動内容

<創作活動>

- ・傘おばけランプ作り
(竹細工と紙漉き)
- ・鬼火づくり(燈籠)
- ・鬼の金棒づくり
(バームクーヘン)

<体験活動>

- ・滝の散策
- ・流しそうめん体験
- ・星空観察
- ・湯田牛乳公社見学と
バター作り
- ・飯ごうパン作り

平成24年度下半期のお知らせ

特別展 よろず伝承展「鬼とよばれたモノたち」

12月15日(土)～3月10日(日)

私たちの身の回りには、鬼ではないのに「鬼」が名前につくモノがあります。台所には「鬼おろし」、子どものころ駆け回った庭や野原では「オニヤンマ」や「オニアザミ」、お父さんの晩酌には「鬼ごろし」。一角があるわけでも、虎柄のフンドシを締めているわけでもないのに、どうして名前に鬼がつくのでしょうか。

今回のよろず伝承展では、名前に鬼がつくモノをジャンルを問わず集めて展示します。さて、そこからどんな共通点が見えてくるでしょうか。「うちには、こんなオニ〇〇がある」というお知らせもお待ちしていますので、ぜひ情報をお寄せください。

平成24年度鬼学講座

～パート16 人々によって育まれた鬼の文化～

各回 午後1時30分(受付は1時から)

- 第1回 10月27日(土) 厄除けについて 中田功一氏
- 第2回 11月4日(日)【移動学習】多賀城市等
東北歴史博物館企画展「みちのく鬼めぐり」見学
- 第3回 11月25日(日) 祖霊について 岩崎真幸氏
- 第4回 12月9日(日) 津軽の鳥居の鬼コについて
福士壽一氏
- 第5回 1月20日(日) 冬の農耕儀礼 鈴木明美氏

平成24年度鬼っこわんぱく講座鬼剣舞体験

1月6日(日)・13日(日)・20日(日)・27日(日)
2月4日(土)・5日(日)

お面づくり・踊りの練習「刀剣舞の狂い」・発表



冬休みワークショップ

12月23日(日)・27日(木)

1月5日(土)・8日(火)・10日(木)・14日(月)

3種コース(1コースにつき3回開催) 工作内容未定

福豆鬼節分会

平成25年2月3日(日)予定

「福はうち、鬼もうち」の掛け声で豆まきや餅まきが行われ、一年の福を呼び込みます。各種ゲームや芸能公演、木ボラの習俗儀礼等内容盛りだくさんの冬祭りイベントです。入場無料(※ただし、常設展・特別展の見学は有料となります)



※「鬼剣舞体験」と「冬休みワークショップ」は日程が変わる場合もありますのでご注意ください

あいさつ

「館長就任にあたって」

～企画展「魔よけ」開催中!～

館長 松田 訟盟



4月1日付けで北上市立鬼の館の館長に着任しました松田訟盟(きみあき)です。

菊池清満前館長の後を受け、微力ながら全力を尽くす所存ですので、どうぞよろしくお願ひいたします。

前任はスポーツ振興課で市民のスポーツ振興やいわて北上マラソン大会、奥羽横断駅伝競走大会などに従事しておりました。また、地域ではサッカー少年団の指導者として年がら年中活動しており、真っ黒に日焼けしております。8月11日から当館の企画展「魔よけ」が始まっております。文字どおり鬼の館の「魔よけ」? として頑張っていきたいと思っています。

さて、多くの皆さんは「鬼」と言われて一般的に想像する姿は、頭に角、口には牙、爪は長く鋭く、虎皮の褌を腰に纏い、金棒をもった大男であり、「悪いもの」「恐ろしいもの」だと思います。北上市の市民憲章は「あの高嶺、鬼すむ誇り、その瀬音、久遠の賛歌、この大地、燃えたついのち、ここは北上」。ここでうたっている鬼とは、私たちを見守っ

てくれる祖先であり、善神です。当館は平成6年6月1日にオープンし、今年開館19年目に入っております。これまで全国でも稀な「鬼」のテーマ博物館として子どもから大人までたくさんの方々を訪れていただき、9月16日入館者数は60万人を超えました。多くの皆様に様々な鬼の姿を紹介しながら「鬼とは何か」というテーマを伝える機会を持てたことを、大変うれしく思うとともに、ここまで育てていただいた市民の皆様、地域の皆様に感謝申し上げます。

当館では今年度、常設展示、企画展、特別展をはじめ、鬼学講座や鬼っこわんぱく講座、鬼剣舞体験・面づくり、夏休み、冬休みに行う鬼ッズ・プレイミュージアムなどのほか芸能団体や地域の皆様のご協力により年12回の鬼剣舞公演、大乘神楽大会、福豆鬼節分会など様々な事業を展開しています。財政状況は厳しいものがありますが、厳しい時だからこそ職員一同展示や教育活動に様々な工夫をこらし、また、来館者への心のこもった対応、分かりやすい解説に心がけ、魅力ある鬼の館、愛される鬼の館であるように努めてまいります。

これからもよろしくお願ひいたします。皆様のご来館をお待ちいたしております。

出前講座

和紙面づくり

▶ 鬼剣舞面・カップパ面 ◀

鬼のお面を気軽に作ってみたい! でも、鬼の館にはなかなかいけない、という場合など、こちらで出向きます。北上市の出前講座のメニューに「和紙面づくり講座」がありますので、要望があれば北上市内どこへでも伺います。

最近、ふれあいデイサービスや子ども会、学校行事でご利用いただいております。面づくりは、①お面の型づくりから色ぬりまでの「全行程」と、②すでにできあがっているお面に色をぬる「色付けのみ」の2パターンからお選ひいただけます。詳細は当館へご相談ください。

出前講座の申し込みは、北上市教育委員会生涯学習文化課(0197-61-3231)へ。



運動会で踊る鬼剣舞のために、毎年出前講座を利用いただいております(市内北上中学校1学年)

～学芸ルームから～

鬼の展示とアンケート

主任学芸員 後藤美穂

鬼の館では、今年度の特別展「妖怪—古今東西」(平成24年4月21日～7月22日開催)から、展示の中で来館者に「参加してもらう」試みを始めました。

それは、展示している内容に関する公開アンケートです。たとえば、今回の展示「妖怪—古今東西」では、妖怪の存在を信じている人も信じていない人も、テーマに沿ってその思うところを公開アンケートの用紙に記入してもらいます。回答は展示室の一角の専用コーナーで公開し、他の来館者にも見ていただけるようにしました。この仕掛けには二つの効果を期待していました。

一つは「受身の見学から能動的な見学へ」のシフト。鬼の館は全国的にも珍しい鬼の博物館です。ちょっと奇抜な展示手法も相まって子どもに大人気の施設ですが、ただ解説文を読み、資料を見るだけでは、なかなか印象に残らないのが実情です。そこで、このテーマに関してあなたならどう考えますか、といった発問をすることで、展示の内容をより来館者自身に引き寄せて捉えてもらおうという試みです。

もう一つは「博物館の情報収集機能をアップさせる」ことです。博物館は調査研究の蓄積が生命線ですが、限られた人数では限界があります。お客様から寄せられる情報は、新しい視点であることも多く、とても参考になります。もちろんアンケートの内容が即資料になるとは限りませんが、情報を集めるための糸口になったり、新たな切り口につながる可能性は十分にあり、来館者と博物館との関係を「展示する⇒見学する」という一方的なものではなく、展示の内容を基に情報交換をしていく場であってもいいのでは、と考えています。

さて、今回は、「妖怪—古今東西」に合わせて以下の質問を設定してみました。

「子どもの頃、こんな妖怪の話をきいた」「私の住んでいる地域にはこんな妖怪がいるらしい」「こんな妖怪がいたらいいな」の3問です。これには全部で102通の回答が寄せられました。

回答は、中でも「こんな妖怪がいたらいいな」に集中しました。

「良い夢を見せてくれる」

「眠っている間に疲れを食べてくれる」

「さみしいとき一緒に笑ってくれる妖怪」



▲アンケートの回答を会場で公開している様子

「助っ人妖怪」

「体の中に入れてどこにでも行ける妖怪」

などです。古くから妖怪は、おどろおどろしさの一方で人間臭さを併せ持つ存在でした。できれば出会いたくないという恐怖心の一方で、もしいたらこん妖怪であってほしいという空想の先には、自分の心細さや不安感に寄り添ってくれる存在を挙げる人も多くいました。

また、「私の住んでいる地域にはこんな妖怪がいるらしい」というテーマには、以下のような回答がありました。

■ つい去年のことです。とある祭りの時に、小雨降るビル街の中の通りに現れました。意味不明のつぶやきを発しながら歩き回り、その姿形は病院の白衣(?)に、雨にも関わらずスリッパといういでたち。これを見た私たち数人の間では「妖怪・スリッパじい」と呼んで出沒を恐れました。(一部略) (仙台市)

■ 保育園でお昼寝をする時、なかなか寝つけない子などが天井を見上げて笑ったり、手をふったりしている。保育園には子どもにしか見えない、子ども好きの何かがいるようだ。

(名古屋 女性)

実際に自分が見たという体験談や人から聞いた話など、さまざまな回答が寄せられました。

鬼も妖怪も、「実在」するとは言い難い存在ながら、古くから親しまれてきたものです。あるときには恐怖心を、あるときには人の願いを投影してきました。鬼の館には、さまざまな鬼に関する資料を集め研究する中で、それらが生み出され育まれてきた背景や要因を追及し、情報発信していくという使命があります。これからも、みなさんの心の中の「鬼」について情報を寄せていただく取り組みを続けていきますので、どうぞ御協力をよろしくお願い致します。

鬼の里だより

●企画展・特別展

<特別展> 「平成24年度収蔵資料展妖怪～古今東西～」
4月21日(土)～7月22日(土) 6,310人

<企画展> 「魔よけ」
8月11日(土)～開催中

●大乗神楽大会

6月10日(日) 観客 372人

●鬼ッズ・プレイミュージアム 4月1日～9月30日

和紙面づくり 参加者 66人
出前講座8件 参加者 376人

<夏休みワークショップ>

傘おぼけランプづくり 参加者 106人
鬼手ぬぐいづくり 参加者 65人
ひえひえ妖怪うちわづくり 参加者 103人

●鬼の館芸能公演

4月22日	北藤根鬼剣舞	観客 154人
5月3日	黒岩鬼剣舞	観客 125人
5月4日	二子鬼剣舞	観客 205人
5月27日	御免町鬼剣舞	観客 91人
6月3日	相去鬼剣舞	観客 107人
6月24日	滑田鬼剣舞	観客 102人
7月22日	鬼柳鬼剣舞	観客 138人
8月14日	岩崎鬼剣舞	観客 252人
8月26日	口内鬼剣舞	観客 81人
9月23日	谷地鬼剣舞	観客 130人
岩崎鬼剣舞享保伝授280年祭		
9月16日		観客 516人

●鬼っこわんぱく講座

5月5日 こどもの日わくわくイベント 参加者 729人
鬼っこ合宿「鬼ッズ★サマーキャンプin西和賀町」
7月26日(土)～28日(土) 参加者 26人

利用案内

開館時間 午前9時から午後5時まで。
なお、入館は午後4時30分まで。

- 休館日**
- ・12月～3月の月曜日
 - ・12月～3月の国民の祝日の翌日
(土・日・月曜日の場合は火曜日)
 - ・館内整理日(11月27日～11月30日)
 - ・年末年始(12月28日～1月4日)

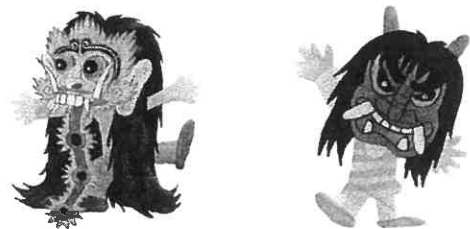
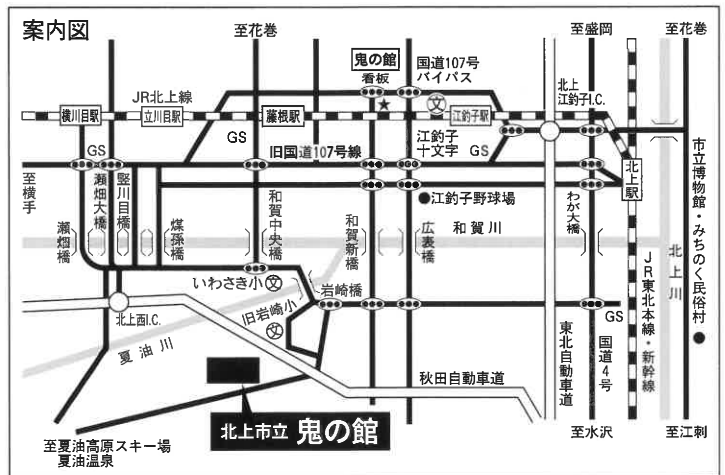
入館料

一 般	500円(400円)
高 校 生	240円(180円)
小 中 学 生	170円(120円)

() 内は20人以上の団体料金。

交通利用

- ・JR北上駅西口よりバスで25分。
煤孫経由横川目行、瀬美温泉行「岩崎橋」
下車徒歩10分。
- ・JR北上駅より車で20分。
- ・東北自動車道「北上江釣子I.C.」、
秋田自動車道「北上西I.C.」よりともに
車で15分。



北上市立鬼の館だより

第 37 号 2012. 10. 15

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎16地割131番地
TEL 0197(73)8488 FAX 0197(73)8508